

子ども・子育て支援新制度一般向けイベント実施結果

1 目的

平成 27 年度から本格施行される子ども・子育て支援新制度(以下、新制度)について、子育て世帯を中心とした一般の町民に周知し、新制度に関する疑問点の解消や町の子ども・子育て施策に関心をもっていただくことを目的とする。

2 日時

平成 26 年 7 月 19 日(土) 13 時～15 時
葉山町教育委員会 研修室(会議室)

3 対象者

主に葉山町内で子育てしている人(それ以外の人も参加可)

4 定員

50 人(原則事前申込、当日参加も可)
託児 5 名(事前申込、先着順)

5 内容

講師 神奈川県立保健福祉大学 新保幸男教授
講演会「地域にあった子ども・子育て支援新制度の運用(仮題)」
意見交換(グループワーク)「テーマ 葉山らしい子育てとは」

6 役割分担

主催 葉山町子ども・子育て会議、共催 葉山町
役割分担
葉山町子ども・子育て会議 イベント企画、当日運営(スタッフ)
葉山町(子ども育成課) 会場、託児の手配、当日運営(スタッフ)

7 実施結果

全体の参加者はスタッフを含めて約 60 名。

(一般参加者 41 名、会議委員 9 名、講師・町職員等 8 名)

内容としては、新制度の説明よりも、町の子ども・子育て施策に関する意見交換が中心となった。

グループワークの簡単なまとめは別紙のとおり。

7月19日グループワーク 意見まとめ（発表されたもの）

第1グループ（0～2歳）

- ・ 保育所に入所できるか不安
- ・ 子どもを預けることと生活の両立への不安
- ・ 保育料が高い

第2グループ（3～5歳）

- ・ 公園やプールの整備
- ・ 病院（皮膚科、耳鼻科）が少ない
- ・ 学童保育の枠が少ない、時間が短い
- ・ バスの子どもパスがあるとよい

第3グループ（きょうだい）

- ・ 医療費助成を拡大してほしい
- ・ コミュニティスペースがほしい
- ・ 認可外の保育活動への補助があるとよい
- ・ きょうだいのいる場合の就園奨励費の拡大
- ・ 学童を小学校などで実施してほしい
- ・ 公園をきれいにしてほしい

第4グループ（その他大人）

- ・ 町の学童は保育でなく託児。時間、おやつ、内容の見直しが必要。
- ・ 交通面の改善
- ・ 母親へのサポートが必要
- ・ 世代間交流があるとよい
- ・ 自転車の置き場ルール
- ・ 低学年のしつけ

第5グループ（当日参加）

- ・ 中学生、高校生の居場所づくり（広くどんな子も含めて）
- ・ 子どもとお年寄りとの交流の場
- ・ 子どもの立場にたって学童を考える
- ・ 幼稚園、保育園の内容の差をつけない
- ・ 地域の子育て力のアップ